



日本骨髄バンクの現状（平成 25 年 9 月末現在）

	8 月	9 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,701	2,869	436,998	591,719
患者登録者数	221	240	2,896	39,809
移植例数	119	128	—	16,083

■ 9 月の年齢別ドナー登録者数（現在数）

10 代	3,013 人
20 代	71,359 人
30 代	151,663 人
40 代	168,041 人
50 代	42,922 人

■ 9 月の 20 歳未満の登録者 211 人

注) 平成 24 年 7 月より集計方法が変わりました。

■ 9 月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／948 人、献血併行型集団登録会／1,830 人、集団登録会／20 人、その他／71 人

注) 数値は速報値のため訂正されることがあります。

■ 骨髄バンクを介して 2 回提供された方（累計数）943 人 ■ DLI（ドナーリンパ球輸注）療法の実施件数（累計数）581 件

■ 国際協力の現状（2013 年 7 月～2013 年 9 月）

< 海外ドナー→国内患者 > 移植数 0 件：累計移植数：179 件

< 国内ドナー→海外患者 > 提供数 1 件：KMDP 1 件：累計提供数：228 件

1 10 月 1 日より「公益財団法人 日本骨髄バンク」に名称変更しました

平成 24 年 9 月に「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」が成立、公布されたことにより、当法人は「骨髄・末梢血幹細胞提供あっせん事業者」として位置付けられることになりました。これを契機として、事業の実態に合わせた名称に変更するべく準備を進めてきました。7 月 12 日発行のマンスリー JMDP でもお知らせしましたように、10 月 1 日より当法人は「公益財団法人 日本骨髄バンク」に名称を変更しました。

一人でも多くの患者さんに移植のチャンスを提供できるよう、これからも努力を続けてまいります。今後も皆様のより一層のお力添えをいただきますよう、心からお願い申し上げます。

2 平成 25 年度上半期の移植数、ドナー登録者数等の実績について

平成 25 年度 4 月 1 日から 9 月 30 日までの上半期の移植数は 694 件で、前年同期間（672 件）より 22 件増加しました。内訳は〔国内ドナー→国内患者〕が 686 件で 20 件の増加、海外バンクを介した〔海外ドナー→国内患者〕が 3 件で増減なし、〔国内ドナー→海外患者〕が 5 件で 2 件増加しました。また、末梢血幹細胞移植は 8 件が実施され、導入以降累計で 27 件となりました。患者さんの登録数は前年度同時期の 1,474 人より 47 人多い 1,521 人（国内 1,149、海外 372 人）でした。

一方、ドナー登録者数は、平成 25 年度 9 月末現在で 436,998 人（前年同期 418,890 人）を数え、この間、新規登録者数は 15,794 人で前年度 18,588 人より 2,794 人減少しました。

都道府県別に見ると、平成 22 年度からドナー登録説明員を献血ルームに配置した埼玉県では、前年度に引き続き、新規登録者が 910 名で全国 1 位となっています。

また、埼玉県の事例を参考に、9 月から献血ルームに説明員を配置した神奈川県では、9 月期のドナー登録者が 188 人（8 月期は 39 人）と大きな成果を上げており、今後が期待されます。

3 平成 26 年度 A C ジャパンの支援休止について

A C ジャパンの支援につきましては、設立当初から長年にわたり、ご協力をいただいています。通常は、2 年間で他団体と交代することになりますが、骨髄バンクは平成 23 年度から 3 年間の支援をいただきました。来年度につきましても、継続申請を行っておりましたが、多くの団体から支援要請があったため、骨髄バンクの支援キャンペーンにつきましては、休止となりました。

4 骨髄バンク推進全国大会について

「日本骨髄バンク」に名称変更してから初の「骨髄バンク推進全国大会」が、11 月 9 日（土）、12 時 30 分から 16 時まで、京葉銀行文化プラザ音楽ホール（千葉市中央区富士見 1-3-2・千葉駅徒歩 2 分）において開催されます。

今回のテーマは「あなたにしか救えない、命のために」です。

第一部の式典では、来賓挨拶および感謝状の贈呈が行われ、第二部ではドナーコーディネートをロールプレイング形式でわかりやすく解説します。適合通知が届いてから提供まで、参加者がドナーコーディネートを疑似体験できるように、それぞれの行程を舞台上でシミュレーションしていきます。第三部では、ゲストに元患者の浅野史郎さんを迎え、お話しを伺うとともに、骨髄バンク普及大使の佐々原聖子さんによるミニ・コンサートも予定されています。

どなたでも骨髄バンクについてご理解いただけるわかりやすい内容となっております。振るってご参加ください。皆様のお越しをお待ちしています。

また、来年の全国大会は以下の予定で開催します。

◆ 9 月 13 日（土）会場：「福島テルサ」（福島市上町 4 番 25 号）

5 台湾骨髄バンク創立 20 周年記念大会報告

9 月 19 日・20 日、台湾骨髄バンク創立 20 周年記念式典が、台湾・花蓮市にある慈濟基金會（財団法人 中華民国 仏教慈濟慈善事業基金會）本部で開催され、当法人からは岡本真一郎評議員と、国際担当職員が参加しました。多くのボランティアの方々協力の下、国内外から 500 名を超える参加者があり、たいへん盛大な式典が開催されました。

岡本評議員の講演、骨髄提供者・移植患者の体験報告を含む医師とのパネルディスカッションや、患者とドナーの対面式が行われました。台湾骨髄バンクは、これまで計 3,085 件の造血幹細胞を世界 28 カ国の海外患者へ提供しています（内、JMDP 患者は 38 件受理・JMDP からの提供実績なし）。台湾骨髄バンク代表者からは、今後も JMDP との結びつきをさらに深め、多くの患者救命に尽力していきたいとコメントがありました。

6 コーディネーター養成研修会受講者募集（2 期）について

コーディネーター件数の増加に伴い、下記の地域においてコーディネーター養成研修を行います。収入の多寡にかかわらず、この仕事を社会貢献と捉えて活動できる方を募集します。お知り合いや

周囲の方でコーディネーターの仕事に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、是非とも応募のお声掛けをお願いします。

「募集要項」は、コーディネーター、調整医師の方々へ今号のマンスリーに同封してお送りしています。当法人ホームページでもご覧いただけます。（<http://www.jmdp.or.jp/>）

<募集概要>

◆募集地域（以下の地域で活動できる方）

北海道地区：旭川

関東地区：茨城、長野、群馬、東京、神奈川、埼玉、千葉

近畿地区：滋賀、京都、大阪、兵庫、和歌山

中四国地区：島根、広島、愛媛

◆募集人数

各地域とも若干名

◆研修期間

平成 26 年 1 月上旬～4 月上旬（予定）

※1 月 11 日（土）、12 日（日）：開講式、集合研修（東京）

◆応募資格

原則 25 歳以上の健康な方で、骨髄バンク事業を理解し、コーディネート業務に時間と労力を割くことができる方。ただし、骨髄・末梢血幹細胞移植適応患者やその家族、または特定の患者の支援活動をしている方は除きます。

◆応募締切

平成 25 年 12 月 18 日（水） 応募書類必着

* 書類選考と電話での選考を経て受講者を決定します。

7 非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科の認定について

以下の施設が新たに非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科として認定されました。これまでに認定された施設は64施設です。

◆非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科

・採取施設

長野赤十字病院

社会保険京都病院

・移植診療科

同左 血液内科

同左 血液内科



大阪赤十字病院 同左 血液内科
 愛知県厚生農業協同組合連合会江南厚生病院 同左 血液・腫瘍内科

※大阪赤十字病院および愛知県厚生農業協同組合連合会江南厚生病院については、造血幹細胞測定体制が確認できるまで採取認定は留保する。

※※社会保険京都病院については設備面で確認事項があるため採取認定は保留する。

新規認定施設については、当法人ホームページ＞患者さんへ＞移植認定病院、およびドナー登録されている方へ＞面談施設一覧でもご覧いただけます。

8 当法人の会議開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に当法人事務局総務部までお申込みください。

会議名	公開・非公開	開催予定	
業務執行会議	公開・一部非公開	10月18日（金）17:30～	廣瀬第1ビル2階会議室
ドナー安全委員会	非公開	10月26日（土）12:30～	廣瀬第1ビル2階会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

9 インフルエンザの予防接種について

＜コーディネーターの方へ＞

今年度もインフルエンザワクチン接種を希望するコーディネーターに対して、接種に係る費用を全額補助します。各自、医療機関にてワクチン接種を行い、領収書を添付の上、当法人に接種費用を請求してください。ただし交通費は自己負担とします。なお、接種期間は平成 26 年 3 月 31 日までとしますが、産業医より、インフルエンザワクチン接種は 10 月中（遅くとも 11 月中）に行うことが望ましいとの見解をいただいています。

ドナーの方については、12月から3月に採取の日程が決定（もしくは内定）しているドナーの方が自主的な判断で接種を受ける場合、接種費用の半額を当法人で補助します。ドナーの方から申し出があったときは地区事務局へご連絡ください。

10 当法人の名称変更に伴う、マニュアル等冊子の改訂について

<医師の方へ>

当法人の名称変更に伴い、下記の冊子を改訂しましたので、登録医師、移植医師、連絡責任医師等、関係の皆様にお送りします。

【改訂した冊子】

- ①患者コーディネートの進め方（患者コーディネート担当医師用マニュアル）
※患者コーディネートのルールについて改めてご確認いただきたく、ご一読願います。
- ②患者さんとご家族のための骨髄ハンドブック（患者利用編、移植医療編、移植医療編別冊）

11 骨髄液の凍結事例報告

2013 年 4 月 1 日から 9 月 30 日までの間に、2 例の凍結申請がありましたので報告します。詳細については、別紙「骨髄液の凍結申請事例報告」をご参照ください。

12 連絡事項

◆「平成 24 年度ドナーフォローアップレポート」発行について

「平成 24 年度ドナーフォローアップレポート」を発行しました。調整医師、コーディネーターの皆さまに、今号のマンスリー JMDP に同封してお送りします。

※当法人ホームページでも以下の URL より、ご参照いただけます。

<http://www.jmdp.or.jp/medical/work/donorflowup.html>

◆ブラッシュアップ研修会について <コーディネーターの方へ>

11 月 9 日（土）・10 日（日）に開催する第 19 回コーディネーターブラッシュアップ研修会のご案内およびグループ討議の資料を、今号のマンスリー JMDP に同封しますのでご確認ください。

ブラッシュアップ研修会 2 日目にグループ討議を行います。プログラムの関係上、討議時間が 1 時間程度と限られるため、同封資料を事前にお目通しの上ご参加ください。

